

優 秀 賞

「夢無き者に成功無し」

愛知県立稲沢高等学校 農業土木科 2年
土 田 歩 輝

「夢無き者に理想無し、理想無き者に計画無し、計画無き者に実行無し、実行無き者に成功無し。故に、夢無き者に成功無し。」

これは、幕末から明治維新にかけて活躍した勤王の志士を輩出した「松下村塾」の吉田松陰の言葉です。中学校の先生に教えて頂きました。

確かに、夢は何か、理想は何か、それさえはっきりすれば、成功は手にしたも同然だと思います。しかし、なかなか簡単に、夢や理想は決まりません。自分自身が分かっているためか、夢や理想を思いつくことすらできないこともあります。

私は、稲沢高校の農業土木科で学んでいます。この春に1年から2年に進級しました。

2年生は、1年生とは違って、将来のことについて考えていく時期です。人によって、就職する人もいれば、進学する人もいます。進学、就職のいずれにしても、人は夢を持って将来を考え、夢の実現に向けて働く人がほとんどだと思うし、夢がなければ張り合えない人生になってしまうと思います。

私は、高校に入学してから、柔道部に入部し活動しています。最初は、部内の練習でも、試合でもなかなか勝てませんでした。そんな時に、顧問の先生に「理想を持って」と言われました。

その時、中学校の先生に教えて頂いた言葉を思い出したのですが、最初は、どうしたらいいのかと頭を悩ませました。夢や理想なんて言葉を思い浮かべることなく、ただ練習に一生懸命取り組んでいただけだからです。

あれこれ考えたあげく、思いついた答えは簡単でした。ただ一つ「勝ちたい」でした。今、どうしてこんなに一生懸命練習をしているのか、その理由を考えていた結果でした。

そして、部活道だけではなく、今、私たちがしていることでも、夢や理想を考えることは一緒だと気がつきました。大きな、ずっと先の目標でなくてもいいのだ

と思います。測量の機械の据え付けが早くなりたい、電卓を使った計算を間違いなく正確にできるようになりたい、土木施工管理技士の資格を取って現場監督になりたい。今、自分が取り組む活動で、できないことをできる様にするを理想とする。自分で考えたそんな理想を持てば、あとは、繰り返し練習をしたり、合格するように勉強をするだけなのです。そうすれば、一度や二度の失敗はあるかもしれませんが、努力を続けていけば、報われ、結果は必ずついてきて、夢は実現し、成功すると思います。

しかし、普段の生活から理想を持つのは、とても難しく、勉強や実習の時間を疎かにしてしまいがちになります。だから、まず、自分の好きなことや興味が有ることから実践していくように取り組みたいと思っています。

今、私は、農業土木科で測量や農業土木施工、農業土木設計等の授業を受けています。授業で建設会社の方々の講話を聞く機会があり、自分が考えてもいなかった土木工事の魅力を教えて頂きました。そして、将来は、土木の仕事について、現場監督になりたいという目標を持つことができました。

お話を聞いていて、土木の仕事には、知識や技術力だけではなく、体力やコミュニケーション能力等も必要だということが分かりました。今後も部活動を続け、柔道部で、授業では得られない体力や忍耐力、先輩や後輩と力を合わせて勝利という目標に向かって中心となって努力できるリーダーシップを身に付けられるよう、頑張っていこうと思います。

来年の今頃は、目標とする会社も決まり、入社のため、入社後の活躍のための努力を重ねていることと思います。実際に社会に出て、土木の会社にお世話になるまでに、一年半しかありません。これからの稲沢高校での一日一日を無駄にせず、日々の勉強や部活を頑張って、人々から信頼され、頼りにされる土木技術者になりたいと思います。

これが、今の私の一番大きな夢と理想です。